

リスク説明書(Hirose-FX2、Hirose-FX2 ミニのお客様用)対比表

平成 26 年 5 月 26 日

(青字部分は追加、青字部分は削除箇所)

現 行	変 更 後
<p>リスク説明書(Hirose-FX2、Hirose-FX2 ミニ、LION FX、HiroseTrader のお客様用)</p>	<p>リスク説明書(Hirose-FX2、Hirose-FX2 ミニ、LION FX、HiroseTraderのお客様用)</p>
<p>2. レバレッジ効果によるリスク</p> <p>本取引は、レバレッジ(てこの原理)を利用した取引であり、対価で行う為替取引に必要な資金と比較して、少額の資金での取引が可能のため、少しの為替レートの変動であっても、お客様の未決済ポジションの評価損益は大きく変動します。従って、預託された資金の元本割れもしくは元本を上回る損失発生の可能性があります。</p> <p>当社では、お客様の便宜のため、「最大レバレッジ」と「実効レバレッジ」とを使い分けております。「最大レバレッジ」とは、必要証拠金が対価で行う為替取引に必要な資金の何倍の取引となっているかを示すもので、「実効レバレッジ」とは、口座全体のレバレッジのことで、有効証拠金が対価で行う為替取引に必要な資金の何倍の取引となっているかを示すものです。なお、LION FX の法人のお客様以外につきましては、「最大レバレッジ」「実効レバレッジ」ともに最大 25 倍となっております。</p>	<p>2. レバレッジ効果によるリスク</p> <p>本取引は、レバレッジ(てこの原理)を利用した取引であり、対価で行う為替取引に必要な資金と比較して、少額の資金での取引が可能のため、少しの為替レートの変動であっても、お客様の未決済ポジションの評価損益は大きく変動します。従って、預託された資金の元本割れもしくは元本を上回る損失発生の可能性があります。</p> <p>当社では、お客様の便宜のため、「最大レバレッジ」と「実効レバレッジ」とを使い分けております。「最大レバレッジ」とは、必要取引証拠金が対価で行う為替取引に必要な資金の何倍の取引となっているかを示すもので、「実効レバレッジ」とは、口座全体のレバレッジのことで、有効証拠金が対価で行う為替取引に必要な資金の何倍の取引となっているかを示すものです。なお、LION FX の法人のお客様以外につきましては本取引においては、「最大レバレッジ」「実効レバレッジ」ともに最大 25 倍となっております。</p>
<p>3. 金利変動リスク</p> <p>本取引は、決済期限を設けていないため、当日の取引終了時(ニューヨーク市場クローズ時)における未決済ポジションに対してスワップポイントが発生し有効証拠金へ加減算されます。お客様は、金利水準の異なる 2 国間の通貨を売買することにより、金利が低いほうの通貨の買いポジションを持った場合、または金利が高いほうの通貨の売りポジションを持った場合、スワップポイントを支払う必要があります。スワップポイントは、各通貨の短期金利の年率を日割り計算したものをベースとして、当社が諸経費を加算して算出したものとなります。金利水準は、各国の経済事情や政治情勢等様々な要因を反映して変動しますので、スワップポイントが受取りから支払いに転じる場合があります。</p>	<p>3. 金利変動リスク</p> <p>本取引は、決済期限を設けていないため、当日の取引終了時(ニューヨーク市場クローズ時)における未決済ポジションに対してスワップポイントが発生し有効証拠金へ加減算されます。お客様は、金利水準の異なる 2 国間の通貨を売買することにより、金利が低いほうの通貨の買いポジションを持った場合、または金利が高いほうの通貨の売りポジションを持った場合、スワップポイントを支払う必要があります。スワップポイントは、各通貨の短期金利の年率を日割り計算したものをベースとして、当社が諸経費を加算して算出したものとなります。金利水準は、各国の経済事情や政治情勢等様々な要因を反映して変動しますので、スワップポイントが受取りから支払いに転じる場合があります。</p>
<p>4. ロスカットのリスク</p> <p>本取引では、預託された資金の元本を上回る損失発生を防ぐため、当社の定める一定時間または当社の定める時点において、為替レートに基づきお客様の未決済ポジションを時価評価します。時価評価を行った時点で有効証拠金が必要証拠金を下回った場合、当社は、お客様の全ての未決済ポジションを成行注文で反対売買することができますが、その際、為替レートの急激な変動等により、預託さ</p>	<p>4. ロスカットのリスク</p> <p>本取引では、預託された資金の元本を上回る損失発生を防ぐため、当社の定める一定時間または当社の定める時点において、為替レートに基づきお客様の未決済ポジションを時価評価します。時価評価を行った時点で有効証拠金が必要取引証拠金を下回った場合、当社は、お客様の全ての未決済ポジションを成行注文で反対売買することができますが、その際、為替レートの急激な変動等により、</p>

現 行	変 更 後
<p>れた資金の元本を上回る損失発生可能性があります。</p> <p>また、有効証拠金の全額を必要証拠金として使われた場合、注文が約定した時点で、スプレッド(売レートと買レートの差)により有効証拠金が必要証拠金を下回り、直後にロスカットとなります。</p>	<p>預託された資金の元本を上回る損失発生可能性があります。</p> <p>また、有効証拠金の全額を必要取引証拠金として使われた場合、注文が約定した時点で、スプレッド(売レートと買レートの差)により有効証拠金が必要取引証拠金を下回り、直後にロスカットとなります。</p>
<p>5. 流動性リスク</p> <p>外国為替市場は、きわめて取引高が多いものの、各国の祝祭日、戦争・動乱や天災地変、経済動向を大きく左右する事態、また、各国の規制や処置等による取引の制限、取引の停止、さらに、金融機関の破綻等によって、流動性の低下または流動性が損なわれる場合もあります。このような流動性の低下等の理由により、証拠金取引においては、売りレートと買いレートの価格差が拡大したり、注文が約定しない等、ロスカットを含む意図した取引ができない可能性があります。また、約定した場合であっても、為替レートの急激な変動によっては預託された資金の元本を上回る損失発生可能性があります。</p>	<p>5. 流動性リスク</p> <p>外国為替市場は、きわめて取引高が多いものの、各国の祝祭日、戦争・動乱や天災地変、経済動向を大きく左右する事態、また、各国の規制や処置等による取引の制限、取引の停止、さらに、金融機関の破綻等によって、流動性の低下または流動性が損なわれる場合もあります。このような流動性の低下等の理由により、証拠金取引においては、スプレッド(売りレートと買いレートの価格差)が拡大したり、注文が約定しない等、ロスカットを含む意図した取引ができない可能性があります。また、約定した場合であっても、為替レートの急激な変動によっては預託された資金の元本を上回る損失発生可能性があります。</p>
<p>10. 両建のリスク</p> <p>本取引では、売りポジション(買いポジション)を保有している状態で、同じ通貨ペアの買いポジション(売りポジション)を保有すること(以下、「両建」といいます。)ができます。両建によるデメリットとして、各ポジションに発生するスワップポイントの差によるコスト、売りレートと買いレートの差(スプレッド)によるコスト等があります。当社では、お客様が負担されるコストをリスクであると考え、両建を推奨いたしておりません。ただし、「HiroseTrader」以外のシステムにつきましては、お客様ご自身の判断において両建を選択することもできる仕様としております。なお、「Hirose-FX2 ミニ」においては、コストとして手数料も発生します。</p>	<p>10. 両建のリスク</p> <p>本取引では、売りポジション(買いポジション)を保有している状態で、同じ通貨ペアの買いポジション(売りポジション)を保有すること(以下、「両建」といいます。)ができます。両建によるデメリットとして、各ポジションに発生するスワップポイントの差によるコスト、スプレッド(売りレートと買いレートの差)(スプレッド)によるコスト等があります。「Hirose-FX2(ミニ)」では、初期設定で両建ありの設定となっており、変更はできませんが、当社では、お客様が負担されるコストをリスクであると考え、両建を推奨いたしておりません。ただし「HiroseTrader」以外のシステムにつきましては、お客様ご自身の判断において両建を選択することもできる仕様としております。なお、「Hirose-FX2 ミニ」においては、コストとして手数料も発生します。</p>
<p>「最大レバレッジ」と「実効レバレッジ」について</p> <p>(1) 最大レバレッジ</p> <p>想定元本から比較して、本取引を行うために最低限必要である必要証拠金で算出した、最大の倍率をいいます。お客様の本取引における最大レバレッジの算出方法は、以下の通りです。</p> <p>(例) USDJPY のレートが 92.64 円で、1 万通貨の取引をする場合 想定元本 = 為替レート × 取引数量 必要証拠金 = 想定元本 × 4% 最大レバレッジ = 想定元本 ÷ 必要証拠金</p>	<p>「最大レバレッジ」と「実効レバレッジ」について</p> <p>(1) 最大レバレッジ</p> <p>想定元本から比較して、本取引を行うために最低限必要である必要取引証拠金で算出した、最大の倍率をいいます。お客様の本取引における最大レバレッジの算出方法は、以下の通とおりです。</p> <p>(例) USDJPY のレートが 92.64 円で、1 万通貨の取引をする場合 想定元本 = 為替レート × 取引数量 必要取引証拠金 = 想定元本 × 4% 最大レバレッジ = 想定元本 ÷ 必要取引証拠金</p>

現 行	変 更 後
<p> 想定元本=92.64 円×10,000ドル=926,400 円 必要証拠金=926,400 円×4%=37,056 円 最大レバレッジ=926,400 円÷37,056 円=25 倍 ・必要証拠金のみの預託であった場合、発注可能額の範囲での発注は可能なため、注文は受け付けられ、新規注文約定直後に、スプレッド(売りレートと買いレートの差)等によりロスカットとなりますのでご注意ください。 ・法改正に伴い、最大レバレッジの上限は、25 倍となります。 (2)実効レバレッジ お客様の口座の有効証拠金からみて、全ての未決済ポジションに対してかかる口座の実効の倍率をいいます。お客様の口座における実効レバレッジの算出方法は、以下の通りです。 全未決済ポジションの想定元本=為替レート×全未決済ポジション数量 有効証拠金=取引証拠金+全未決済ポジションの評価損益 実効レバレッジ=全未決済ポジションの想定元本÷有効証拠金 ・有効証拠金が少額、取引数量が過大であるほど実効レバレッジは高くなり、有効証拠金が多額、取引数量が過少であるほど実効レバレッジは低くなります。取引数量、預託する取引証拠金等により、お客様ご自身で実効レバレッジの調整を行うことができます。 ・法改正に伴い、実効レバレッジは、最大 25 倍となります。 ※LION FX の法人のお客様につきましては、必要証拠金は定額固定制となっておりますので、取引説明書(LIONFX 法人のお客様用)の必要証拠金一覧表をご確認ください。 最大レバレッジの計算方法は、最大レバレッジ=想定元本÷必要証拠金ですが、必要証拠金が定額固定制のため、為替レート(想定元本)の変動により、最大レバレッジも変動します。 </p>	<p> 想定元本=92.64 円×10,000ドル=926,400 円 必要取引証拠金=926,400 円×4%=37,056 円 最大レバレッジ=926,400 円÷37,056 円=25 倍 ・必要取引証拠金の額のみの預託であった場合、新規発注注文可能額の範囲での発注は可能なため、注文は受け付けられ、新規注文約定直後に、スプレッド(売りレートと買いレートの差)等によりロスカットとなりますのでご注意ください。 ・法改正に伴い、最大レバレッジの上限は、25 倍となります。 (2)実効レバレッジ お客様の口座の有効証拠金からみて、全ての未決済ポジションに対してかかる口座の実効の倍率をいいます。お客様の口座における実効レバレッジの算出方法は、以下の通とおりです。 全未決済ポジションの想定元本=為替レート×全未決済ポジション数量 有効証拠金=取引証拠金口座資産+全未決済ポジションの評価損益 実効レバレッジ=全未決済ポジションの想定元本÷有効証拠金 ・有効証拠金が少額、取引数量が過大であるほど実効レバレッジは高くなり、有効証拠金が多額、取引数量が過少であるほど実効レバレッジは低くなります。取引数量、預託する取引証拠金等により、お客様ご自身で実効レバレッジの調整を行うことができます。 ・法改正に伴い、実効レバレッジは、最大 25 倍となります。 ※LION FX の法人のお客様につきましては、必要証拠金は定額固定制となっておりますので、取引説明書(LIONFX 法人のお客様用)の必要証拠金一覧表をご確認ください。 最大レバレッジの計算方法は、最大レバレッジ=想定元本÷必要証拠金ですが、必要証拠金が定額固定制のため、為替レート(想定元本)の変動により、最大レバレッジも変動します。 </p>
平成 25 年 11 月 11 日現在	平成 26 年 5 月 26 日